

論文番号 58

担当

滋賀医科大学 福祉保健医学講座

題名 (原題/訳)

Alcohol consumption and bladder cancer risk: results from the Netherlands cohort study

アルコール消費量と膀胱がん：オランダコホート研究

執筆者

Zeegers MP, Volvovics A, Dorant E, Goldbohm A, van den Brandt PA

掲載誌 (番号又は発行年月日)

American Journal of Epidemiology 2001; 153:38-41.

キーワード

飲酒、アルコール飲料、膀胱新生物、泌尿器新生物

要旨

いくつかの疫学研究がアルコール消費量と膀胱がんの危険性との関係について検討しているが、アルコール量とその種類と膀胱がんとの関係については、明らかでない。そこで、1986年にベースライン調査が行われた、オランダの55-69歳120,852名の食事とがんに関する大規模コホートを用いて、これらの関係について検討した。がんの発症については、がん登録との照合が行われた。ケース・コホート分析は、追跡期間が6.3年、594症例と3,170名の一部コホート対象者について行われた。分析に当たって、年齢と喫煙が調整された。アルコール飲用量を5g未満から30g以上の4群に分けて分析したが、飲酒量と膀胱がんの有意の関連は見られなかった。アルコール飲料の種類と膀胱がんとの関係もなかった。この研究では、アルコールと膀胱がんの意味のある関連は見出せなかった。